

健康づくりは幸せづくり
Making Health is making happiness



第55期

中間株主通信

平成20年4月1日～平成20年9月30日



ゼリア新薬
ZERIA

株主の皆様へ

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し
あげます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼
申し上げます。

第55期中間（第2四半期連結累計期
間）の事業概況に関しまして、
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊 部 幸 顕

Contents

株主の皆様へ.....	P.1
営業の概況（連結）.....	P.2
研究開発.....	P.5
財務諸表（連結）.....	P.6
Keyword	P.7
株主様ご優待のお知らせ.....	P.8
会社情報.....	P.9
株式情報.....	P.10

営業の概況（連結）

第2四半期までの業績

当第2四半期連結累計期間の売上高は、241億48百万円（前年同期比1.3%減）に止まりました。一方、利益につきましては、営業利益9億66百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益9億27百万円（前年同期比1.0%減）、四半期純利益7億72百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

事業部門別状況

●医療用医薬品部門

医療用医薬品部門におきましては、最重点領域と位置付けております消化器官用薬の亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」、H₂受容体拮抗剤「アシノン®」、大腸内視鏡前腸管洗浄剤「ビジクリア®錠」などに営業力をより一層注力し、市場拡大に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は、152億53百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

●コンシューマーヘルスケア部門

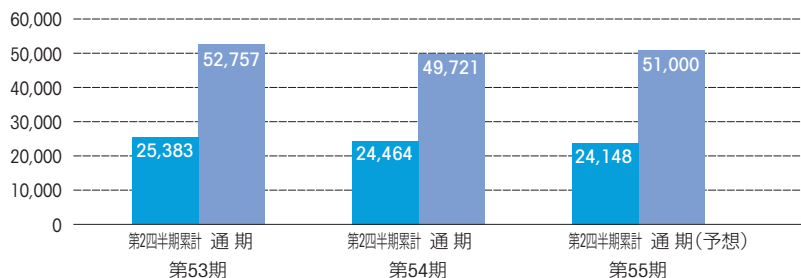
コンシューマーヘルスケア部門におきましては、従来の販売促進活動に加え、主力製品である「コンドロイチン群」においてテレビCMを開始し、市場の拡大とともにゼリアブランドの認知度向上に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は88億13百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

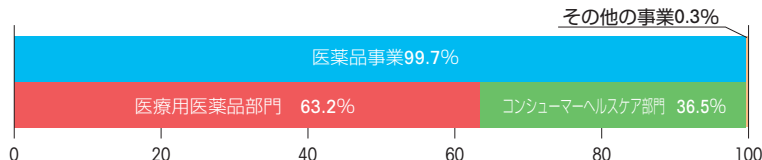
研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進す

連結売上高（単位：百万円）



事業別売上高構成



当冊子の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、以下を取り決めました。

■収益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。

■当第2四半期の財務情報と前年同期の財務情報とは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。その際、前年同期（中間期）については「前第2四半期」と記述しています。

営業の概況（連結）

るとともに、海外で実績がある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

注力領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、スイス・ティロツツ社より導入した炎症性腸疾患治療剤「Z-206（アサコール®）」は、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを終了し、平成20年4月に製造販売承認申請を行いました。また、同剤のクローン病適応については、協和発酵キリン株式会社と平成19年1月に締結した共同開発および共同販売契約に基づき、臨床試験の準備を同社と共同して進めております。

日米欧3極で開発を進めている自社オリジナル品の「Z-338」については、アステラス製薬株式会社と平成20年3月に締結した国内における共同開発および共同販売契約に基づき、機能的ディスペプシアを適応症とした国内でのフェーズⅢを開始いたしました。また、欧州でフェーズⅡ、米国では実施許諾契約に基づ

きアステラス製薬株式会社がフェーズⅡを実施しております。

「Z-103（プロマック®）」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。

「Z-360」は、欧州において膵臓癌に対するフェーズⅠb／Ⅱaを終了し、フェーズⅡ開始に向けた準備を進めております。また、「Z-100（アンサー®）」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

独立行政法人科学技術振興機構の開発委託を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」は、平成20年9月にフェーズⅠを開始



主要医療用医薬品等

種 別	製 品 名
消化器官用薬	アシノン錠 (75mg、150mg)・アシノカプセル (75、150) プロマック顆粒15%・D錠75 マーズレン-S顆粒・ES錠 ビジクリア錠 新レシカルボン坐剤
中枢神経系用薬	ペオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠 (10、20、40)・ポリドカスクレロール (0.5%、1%、3%注2mL)
血液および体液用薬	アンサー皮下注20μg
医療機器	アピテン、シリンジアピテン

主要一般用医薬品等

種 別	製 品 名
代 謝 性 用 薬	コンドロイチンZS錠 新ヘパリーゼプラス・新ヘパリーゼドリンク ハイゼリーB・ハイゼリーBフレッシュ 新ローヤルゼレントB
滋 養 強 壮 剤	ハイゼリー顆粒・ハイゼリー散
胃 腸 薬	アシノンZ・ウィズワン・ウィズワンα ウィズワンプラス・ウィズワンエル
中枢神経系用薬	セビーゴールド (カプセル、顆粒)
医 薬 部 外 品	ローヤルVH・ビタヘルサンB
外 皮 用 剤	アポスティー (ローション・マイルドローション・モイスチャーローション・洗顔フォーム・クリーム) ドルマイシン軟膏 ドルマイコーチ軟膏
栄 養 補 助 食 品	新健康習慣シリーズ

いたしました。

また、平成19年8月にテムリック株式会社と共同開発および独占的販売契約を締結の上、導入した肝細胞癌用剤「Z-208」については、平成20年6月にフェーズⅠを開始いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、新製品、PB品を順次発売いたしました。

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は、25億67百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。なかでも、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、更なる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、当社グループ全域にわたる生産性向上を狙い、現在計画を遂行中の統合基幹システム構築の一環として、本年4月より生産管理システムを刷新いたしました。

今後の事業方針

医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進などの医療費抑制策の継続基調は変わらず、また、OTC医薬品（一般用医薬品）市場におきましても価格競争や消費者ニーズの多様化などにより厳しい環境が続くことが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは平成18年度を起点として5ヵ年の第6次中期経営計画をスタートさせました。本計画では、従来から「車の両輪」と捉えてきた医療用医薬品部門とコンシューマーヘルスケア部門において、コンシューマーヘルスケア部門に更なる経営資源の投入を行い、グループ全体の生産性の

向上を目指し経営基盤の強化を図る計画としております。

医療用医薬品部門におきましては、多様化する医療機関のニーズに応えるための学術情報活動の一層の充実を図るとともに、最重点領域である消化器官用薬に営業力を集中させ既存製品の売上拡大に努めます。また、当計画期間中に上市する製品を早期に市場浸透させ収益性の向上を推進いたします。

コンシューマーヘルスケア部門におきましては、超高齢社会の進展を背景に消費者ニーズに応え、業界トップの地位を固めた「コンドロイチン群」の更なる市場拡大とゼリアブランドの認知度向上を目指し、テレビCMを開始いたしました。また、改正薬事法に基づく一般用医薬品の新販売制度が平成21年までに完全施行される中、セルフメディケーションの高まりに応えるスイッチOTC薬の推進も含めて、業界内での地位向上を目指してまいります。

研究開発におきましては、国際社会に貢献する新薬創出を目指して医療用医薬品の新薬パイプラインの一層の充実を図っております。当計画期間中に、新薬3品目、効能追加1品目、剤型追加2品目以上の上市を計画しており、現在までに新薬2品目、剤型追加2品目を上市いたしました。また、超高齢社会が進展する中、セルフメディケーションに貢献できるスイッチOTC薬等を含めたコンシューマーヘルスケア製品の開発を積極的に進めてまいります。

更に、当社グループ全域にわたる生産性向上を狙い、統合基幹システムの構築を進めており、これらを活用しながら事業の効率化を推進してまいります。また、会社法、金融商品取引法等の施行に対応した内部統制の体制整備とその運営を強化し、当社グループ経営の信頼性をさらに高める努力を継続してまいります。

医薬品業界におきましても、再編淘汰の動きが活発化する中、当社グループは、医薬品事業における企業提携等のみならずその周辺事業も含めた分野での積極的な展開を計画・実施しており、引き続き当社グループの企業価値向上に努めてまいります。

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて11テーマであります。

研究開発の状況

(平成20年11月5日現在)

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備 考
申請中	Z-206/ メサラジン	自社	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出制御製剤	導入 予定製品名アサコール
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病	pH依存型放出制御製剤	導入 予定製品名アサコール
	Z-103/ ポラブレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック効能追加
	Z-338/ Acotiamide	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミバロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	導入

2) その他の分野

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備 考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー効能追加
フェーズⅠ	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備 考
申請中 (韓国)	Z-103/ ポラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入
フェーズⅡ (欧州)	Z-338/ Acotiamide	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/ Acotiamide	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	導出 自社オリジナル
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK $_2$ 受容体拮抗作用	自社オリジナル

ご参考

フェーズⅠ（第Ⅰ相臨床試験）

動物実験を終えて効き目（有効性）と毒性が確認された「薬の候補」は、少数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ（第Ⅱ相臨床試験）

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目（有効性）、副作用（安全性）、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボと比較しながら調べます。

フェーズⅢ（第Ⅲ相臨床試験）

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目（有効性）、副作用（安全性）、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボ（有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬）と比較する試験を行います。多くの場合二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

財務諸表（連結）

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前期末 平成20年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産		23,971	23,008
現金及び預金		1,871	2,477
受取手形及び売掛金		12,583	12,040
有価証券		—	6
商品及び製品		3,520	2,938
仕掛品		525	486
原材料及び貯蔵品		2,114	1,786
その他		3,389	3,315
貸倒引当金		△32	△41
固定資産		33,010	33,415
有形固定資産		19,199	19,616
建物（純額）		6,028	6,198
土地		9,847	9,847
その他（純額）		3,323	3,571
無形固定資産		1,813	1,660
投資その他の資産		11,997	12,138
投資有価証券		6,281	6,427
その他		5,799	5,807
貸倒引当金		△83	△95
資産合計		56,981	56,424
【負債の部】			
流動負債		19,509	17,978
支払手形及び買掛金		5,679	5,142
短期借入金		9,652	7,307
その他		4,177	5,528
固定負債		8,172	9,483
社債		2,700	2,800
長期借入金		4,735	5,649
退職給付引当金		348	715
その他		388	319
負債合計		27,681	27,462
【純資産の部】			
株主資本		29,084	28,664
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,414	5,414
利益剰余金		24,080	23,641
自己株式		△7,003	△6,984
評価・換算差額等		215	297
その他有価証券評価差額金		215	297
純資産合計		29,299	28,962
負債・純資産合計		56,981	56,424

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	当第2四半期 平成20年4月 1日から 平成20年9月30日まで	前第2四半期（ご参考） 平成19年4月 1日から 平成19年9月30日まで
売上高		24,148	24,464
売上原価		11,120	11,574
売上総利益		13,028	12,889
販売費及び一般管理費		12,062	11,946
営業利益		966	943
営業外収益		157	238
営業外費用		196	245
経常利益		927	936
特別利益		459	217
特別損失		24	7
税金等調整前四半期純利益		1,362	1,146
法人税等		590	483
四半期純利益		772	662

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	当第2四半期 平成20年4月 1日から 平成20年9月30日まで	前第2四半期（ご参考） 平成19年4月 1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		23	703
投資活動によるキャッシュ・フロー		△754	△785
財務活動によるキャッシュ・フロー		124	△5
現金及び現金同等物に係る換算差額		—	0
現金及び現金同等物の増減額（△：減少）		△606	△88
現金及び現金同等物の期首残高		2,352	2,025
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,746	1,937

当冊子の表記 について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、以下を取り決めました。
 ■収益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。
 ■当第2四半期の財務情報と前年同期の財務情報とでは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。その際、前年同期（中間期）については「前第2四半期」と記述しています。

Keyword

●イオナインターナショナル株式会社

平成20年10月、コンシューマーヘルスケア事業拡大の一環として「IONA」ブランドで広く知られているイオナインターナショナル株式会社（以下イオナ）の全株式を取得し、100%子会社としました。これにより当グループに新たに化粧品事業会社が加わり化粧品分野へ本格的に参入いたしました。

イオナは、創業以来30余年にわたり、基礎化粧品「IONA」シリーズの製造および販売に携わっております。「IONA」ブランドは、高い認知度を有する優れた基礎化粧品シリーズとして全国のドラッグストア、薬局・薬店、美容サロン等を通じて販売されており、独自の地位を築いております。

イオナを傘下に収めることで、当社がコンシューマーヘルスケア事業において展開をしておりますスキンケア製品群に、新たな基礎化粧品ラインが加わることとなります。

今後、イオナの「IONA」ブランドを活かし、コンシューマーヘルスケア事業におけるシナジーを高めることにより、当社グループ全体の企業価値の向上を図ってまいります。



イオンクリームブリリアント
(保湿クリーム)



スキンローション B.I. (R)
(化粧水)

●コンドロイチンZS錠 テレビCM

シニア層を中心に高い評価をいただいている関節痛・腰痛治療剤「コンドロイチンZS錠」（OTC医薬品）は、関節痛内服薬市場でトップブランドの地位を堅持しております。

更なる認知度アップを目指し、テレビ・映画・舞台そして気象予報士として活躍中の石原良純さんを起用した、テレビCMを全国で放映しています。テレビCMでは、気象予報士である石原良純さんがテンポ良く説明し、コンドロイチンの効果を訴求しています。「飲んで効く！医薬品のコンドロイチンZS錠」をキャッチフレーズにテレビCM、雑誌広告、店頭プロモーションを積極的に展開してまいります。

*コンドロイチンZS錠のテレビCMは、「コンドロイチンZS錠製品情報サイト」（<http://www.zs1560.jp>）でご覧いただけます。



コンドロイチンZS錠 製品情報サイト
(<http://www.zs1560.jp>)



コンドロイチン TV CM

●炎症性腸疾患治療剤「Z-206」

スイス・ティロツツ社より導入した炎症性腸疾患治療剤「Z-206」は、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを終了し、平成20年4月に製造販売承認申請を行いました。「Z-206」のオリジナルであるアサコールは、すでに世界55ヶ国で販売され、その売上高は現在、世界の炎症性腸疾患治療剤市場の約3分の1を占め、トップシェアとなっています。

また本剤は、海外では難治性疾患であるクローン病の適応症も認められており、国内におけるクローン病への開発を、協和発酵キリン株式会社と平成19年1月に締結した共同開発および共同販売契約に基づき同社と共同で進めております。

大腸および小腸に慢性的な炎症または潰瘍を引き起こす炎症性腸疾患の中で、潰瘍性大腸炎は大腸粘膜に病変がみられる炎症性疾患です。一方クローン病は、消化管のあらゆる部位に発症し、特に回腸末端部、結腸および直腸に炎症病変がみられます。両疾患ともに腹痛・出血・下痢を呈する再発難治性の慢性腸疾患で、国内の患者数は増加傾向にあり、潰瘍性大腸炎が約91,000人、クローン病が約26,000人といわれております。「Z-206」は、これらの疾患の治療に貢献できるものと確信しております。

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っており、4つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

Aコース

からだの脂肪を考える、新コンセプト食品

『新健康習慣』

(1週間セット2箱)

『新健康習慣』は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220Kcalという低エネルギーの食生活サポート食品です。「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方におすすめです。



Bコース

健康飲料

『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』

(720mL入り2本セット)

『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』は1日の摂取目安量90mL中にコンドロイチン硫酸1,560mg、グルコサミン1,000mgおよびコラーゲンペプチド1,000mgも摂取できるように配合しており、若々しく活動的に過ごしたいと願う方におすすめの健康飲料です。



Cコース

美容・健康商品

『化粧品・ミニドリンク剤 詰め合わせセット』



大人ニキビ対策としてご好評いただいているコンドロイチン含有の『アポスティー洗顔フォーム』および『アポスティーマイルドローション』を各2本と、ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合し1本わずか2Kcalノンシュガータイプのミニドリンク剤ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー、同『りんご味』ノンシュガー各10本入り1箱をセットにしました。

『アポスティー洗顔フォーム』(化粧品) 60g×2本

『アポスティーマイルドローション』(医薬部外品) 150mL×2本

ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL×10本入り1箱

ローヤルゼリー配合『りんご味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL×10本入り1箱

Dコース

コンドロイチン配合夜間集中美容液(化粧品)

『ZZ:CC (ジージー・シーシー) アドソープエッセンス』

(1本)

『ZZ:CC (ジージー・シーシー) アドソープエッセンス』は当社が長年研究を続けてきたコンドロイチンを配合した「夜間集中美容液」です。高純度コンドロイチンと従来の美肌成分コラーゲン、ヒアルロン酸を独自の割合で配合。これを新・機能性保湿&保護成分「スキンルーツPGⅢ」と名付けました。更に持続性ビタミンC誘導体やビタミンP誘導体および、各種植物エキスも配合しました。夜間集中してお使いいただくことで、眠っている間に角質層まで十分浸透し、翌朝まで肌の水分をとらえて逃がさない一方、美肌成分を送り続け透明感のある素肌を目指します。



会社情報

会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,110名
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

役員

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
常務取締役	猪 口 博 明
常務取締役	長 江 晴 男
常務取締役	斎 藤 武 晃
取 締 役	大 野 晃 一
取 締 役	熊 井 雅 典
取 締 役	永 谷 康 和
取 締 役	遠 藤 広 雄
取 締 役	菅 幹 雄
取 締 役	瀬 沼 宏 章
取 締 役	森 山 茂 之
取 締 役	堀 博 之 彦
取 締 役	竹 内 治 彦
取 締 役	吉 村 和 隆 光
取 締 役	山 本 隆 繁 弥
取 締 役	降 旗 繁 至
常勤監査役	浜 野 峻 彦
常勤監査役	花 田 雅 彦
監 査 役	小 森 哲 夫
監 査 役	中 由 規 子

事業所

● 本社	● 神戸営業所
● 札幌支店	● 京滋北陸営業所
● 仙台支店	● 中四国支店
● 東京支店	● 岡山営業所
● 東京第3営業所	● 高松営業所
● 神奈川営業所	● 福岡支店
● 埼玉営業所	● 中央研究所
● 千葉営業所	● 埼玉工場
● 北関東営業所	● 筑波工場
● 甲信越営業所	● 東京物流センター
● 名古屋支店	● 札幌物流センター
● 大阪支店	● 埼玉物流センター
● 大阪第2営業所	● 大阪物流センター
● 出張所	
青森・郡山・宇都宮・関越・静岡・金沢・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄	

連結子会社 2社

ゼリアヘルスウエイ株式会社

資 本 金	85百万円（持株比率100%）
事業内容	健康食品の仕入・販売

株式会社ゼービス

資 本 金	1億80百万円（持株比率100%）
事業内容	保険代理業・不動産業等

株式情報 (平成20年9月30日現在)

株式の状況

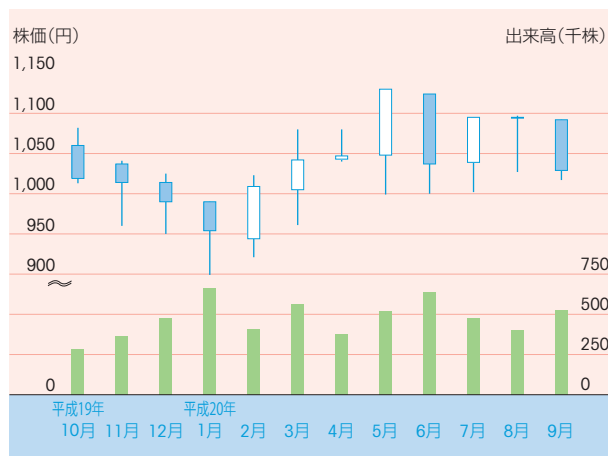
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,616名

大株主

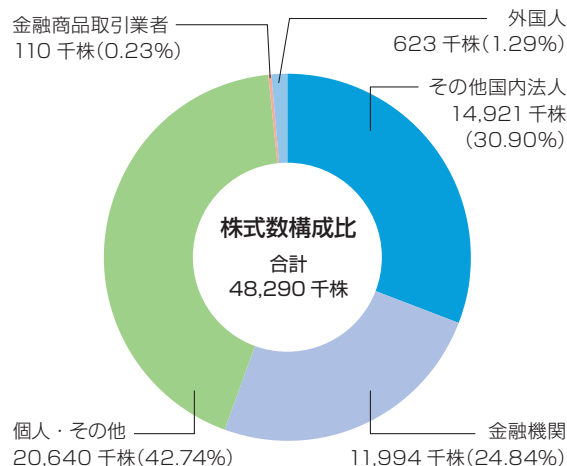
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
有限会社伊部	5,510	11.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915	3.9
森永乳業株式会社	1,854	3.8
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,745	3.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,648	3.4
伊部 幸顕	1,421	2.9
株式会社三井住友銀行	1,278	2.6
株式会社りそな銀行	1,074	2.2
あいおい損害保険株式会社	858	1.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G)	853	1.7

(注) 1. 所有株式数は、1,000株未満を切り捨てて表示しております。
2. 上記の他に、当社が自己株式として6,638千株所有しております。

株価および出来高の推移



所有者別株式分布状況



(注) 所有者別株式数は1,000株未満を切り捨てて表示しております。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 3月31日
権利行使株主確定日
- 期末配当金 3月31日
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日
受領株主確定日
- 定時株主総会 6月下旬
- 公告方法 電子公告による
<http://www.zeria.co.jp/>
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063
〔郵便物送付先〕 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
〔電話照会先〕 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
- 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日（月曜日）から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先
①証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
②証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられていない株主様：特別口座を開設する下記口座管理機関
なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受理することができるとは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日（月曜日）からとなりますのでご了承ください。

記

- ・ 口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- ・ 同ご照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
〔郵便物送付先〕 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕 電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
- ・ 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様の単元未満株式の買取請求につきましては、次のとおりのお取扱いとさせていただきますのでご了承願います。

1. 平成20年12月25日（木曜日）から平成21年1月4日（日曜日）（実質平成20年12月30日（火曜日））までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日（月曜日）とさせていただきます（買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます）。

2. 平成21年1月5日（月曜日）から平成21年1月25日（日曜日）までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬
ZERIA

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351（代表）FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>